molten
For the real game

For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」
私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに
世界に類のないボールと
スポーツエキップメント・メーカーとして
つねに完璧な製品づくりを目指しています。

日本リーグ唯一の公式試合球
全日本実業団連盟主催大会
唯一の公式試合球

H312 ヌエバ 国際公認球 | 検定球
縫い・人工皮革、3号球、ラテックスチューブ

H212 ヌエバ 国際公認球 | 検定球
縫い・人工皮革、2号球、ラテックスチューブ



www.molten.co.jp

株式会社 モルテン　東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川五丁目5-7

事業課題解決のスピードアップ



（財）日本ハンドボール協会常務理事・総合企画室長　西窪 勝広

本年度は、北京オリンピックアジア地区予選の年であります。

このような重要な年に、今年度より新設された総合企画室長の任命を受け、職責の重さを痛感しております。

総合企画室の役割としては、日本ハンドボール協会の事業課題解決のスピードアップを図ることが重点取り組み課題と考えています。

現場、現実、現物を中心に全員が行動し現場を直視する事で、今起こっている現実が問題的局面であれば有る程、心が動き「何とかせねば」と強く感じるものと思いますし、問題点が事実に基づいた課題であれば、担当事業部だけの課題とするのではなく各事業部の枠を超えた共有課題と捉え様々な解決策を生み出していく必要性があると感じております。

解決策を生み出すだけでなく、如何に具体的に実践していくかが真の企画力であり、考え方や裏づけが盛り込まれたシナリオを組み立てて統括していくことが総合企画室に与えられた職責と捉えております。

日本ハンドボール協会の事業方針に基づき、競技、強化、普及、総務、マーケティングの各本部長から提出された事業計画書との整合性を図り、コンセプトが戦略的にあった内容かを検証し、誰がどこに何をいつまで進めていき実現していくのか一体感を持って構築していく事が私に与えられた役割と痛感しております

それ以上に、戦略的思考で経営感覚を高めていく意識改革が協会事業に携わる者に求められている最大の責務でもあります。

日本ハンドボール協会の全員が課題を共有しあい、各事業本部が今ある資源を如何に商品化し訴求力を高めていき、枠を超えた新たな知恵を集結しあい危機感を持って課題解決のスピードアップに努め邁進していきます。

それが、夢を持ってハンドボールに取り組んでおられる愛好者への姿勢と思っております。

皆様の幅広いご支援を賜りながら微力ではありますが、ハンドボール界発展のために努めてまいります。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

平成18年度
第2回 春の全国中学生ハンドボール選手権大会

平成18年度第2回春の全国中学生ハンドボール選手権大会を振り返って

氷見市実行委員会事務局　岩坪 大祐

春の訪れを告げるかのように、今年も活気あふれる中学生達が全国より集い氷見の地で4日間にわたり繰り広げた熱い戦いは、観るものの心に感動と勇気を与えてくれました。

平成19年3月24日から28日まで富山県氷見市で開催された「第2回春の全国中学生ハンドボール選手権大会」には、第1回大会と同じく北は北海道から南は沖縄まで各都道府県より男女あわせて92チーム、1500人を超える役員・選手が参加しました。

中学生を対象とした従来の全国規模の大会とは異なり、この「春の全国中学生ハンドボール選手権大会」はブロック代表ではなく都道府県単位での出場、そして中学校におけるハンドボール部とともに地域スポーツクラブの参加を認めた、画期的な全国大会として平成17年度よりスタートいたしました。全国規模の大会に参加する機会の乏しかった地域の中学生にも、高いレベルでの競技経験を積んでもらうことで、ジュニア層の全体的な強化を図り、また、ハンドボール競技の底辺拡大を目指していることが当大会“春中ハンド”の特色です。

平成26年度に予定されている第10回大会まで同一の開催地で行われることも、本大会の注目される点だと考えています。

会場となる富山県氷見市は、昭和33年に行われた第13回国民体育大会における優勝(富山県立氷見高等学校　男子)以降、幅広い年代層で強豪チームを全国に送り出してきました。

あわせて、平成13年度から3回連続で全国高等学校選抜大会を開催するなど、豊富な競技運営経験を持ちます。

これまでの蓄積と、今後連続開催される春中ハンドの取組みにより、氷見市を「ハンドボールの聖地」として全国に発信し、あわせてスポーツの拠点形成を通して氷見市のまちづくりに寄与しようという目的のもと、大会実行委員会では様々な活動を展開してきました。

では、第2回大会を振り返り、皆様方に春中ハンドとはどのような大会であったかをお伝えしたいと思います。

第一にとりあげるのは、参加選手の競技力向上を重視した大会であったことです。大会本戦の前や試合終了後に、市内の体育施設を練習会場として提供し、また、本戦を敗退したチーム同士がミニゲーム形式で対戦を繰り返す交流試合を用意したことは指導者や選手たちに好評を博しました。

特に交流試合については、普段近隣のチームとしか対戦できないが、大会期間中は遠方の強豪チームと切磋琢磨できる貴重な機会とあって、勝ち残っているにもかかわらず参加を申し込むチームも現れるほどでした。

第二に、選手や監督を含めた関係者はもちろん観客も楽しめ、一人でも多くの方に特別な思い出を氷見でつくってもらおうと工夫を凝らしてみました。

開会式の前に行われたセレモニーでは、地元の女子中学生らで結成されたPRユニット「寒ぶりっ娘」による大会歌披露が行われ、引き続き日本ハンドボールリーグ女子1部である北國銀行による紅白戦、そして全日本メンバーとのふれあいタイムが催され、大いに盛り上がりました。



ふれあいタイムでは大崎電気に所属する、あの宮崎大輔選手や本市出身の早船愛子選手等全日本メンバーとパス練習を行うチャンスもあり出場チームの中学生達は目を輝かせていました。





メイン会場となった氷見市ふれあいスポーツセンター駐車場には、氷見市の特産品等を取り扱う出店が立ち並んだ巨大テント「交流広場」が設置され、参加選手や応援に来ていた保護者の方々、そして観戦に訪れた地元住民の皆さんが思い思いに交流を深めていました。

ここで若干、この大会と地域との関わりについてご紹介させていただきます。

氷見市はまちづくりの目標として「200万人交流都市の実現」を掲げていますが、その取組みの一つとして、この大会では市内の地域ごとに出場チームを応援する「サポーター制度」を設け、全国より集まる選手たちと地元住民の皆さんがふれあえるようにさせていただいています。

具体的には市内各地域より推薦された約250人の「サポーター」が住民に呼びかけて応援団を結成、また、大会会場内にてチームに付添い、様々な支援を行いました。なかには、交流を記念した植樹式や食事会を開いたサポーターもいらっしゃり、単なる競技大会にとどまらない、こうした取り組みが春中ハンドの大きな特徴となっていると考えています。

さて、92チームが出場した第2回春の全国中学生ハンドボール選手権大会は激戦の末、男子が埼玉県代表の吉川市立中央中学校、女子が東京都代表の東久留米市立西中学校が優勝し幕を閉じました。選手たちは様々な思いを胸に抱きながら、サポーターに見送られ帰途につかれました。

チームの皆様には、氷見での得がたい経験を糧にして、今後も成長を続けていってほしいと願います。

最後に、3月25日午前9時42分に発生した能登半島沖地震は氷見市にも大きな爪あとを残しました。

幸い、出場が危ぶまれるような怪我も無く、運営面でも25日は試合を中断せざるを得ませんでしたが、(財)日本ハンドボール協会役員の適切な指導の下、午前11時30分には再開することができ、26日以降は日程どおりに大会を進めることができました。

多くの関係者のご協力・ご尽力によって無事大会を終えることができたのであり、この場をお借りし皆様方に衷心よりお礼申し上げます。

終わりに、「氷見に咲く君は　春中ハンドの風になる」を合言葉に、第3回大会でまたお会いしましょう。ありがとうございました。





男子優勝チーム 吉川中央中学校（埼玉県）



写真提供：スポーツイベント社

■夢に見た全国制覇

埼玉県吉川市立中央中学校ハンドボール部監督　斉藤 良昭

この度は、第2回春の全国中学生ハンドボール選手権大会において、夢に見た、まさかの全国大会優勝ができたことを本当に嬉しく、素晴らしい結果をプレゼントしてくれた選手一人一人に感謝の気持ちでいっぱいです。部員8人という少ない人数で、素晴らしい雰囲気の中あのようなゲームができ、信じられない思いです。「せっかくの全国大会………ひとつでも多く試合をやろう」この言葉を励みに大会出場が決まった数ヶ月間、県内のチームをはじめ、県外のチーム、たくさんの学校に感謝しきれないほど胸を借り、相手をしていただいたことがどれほど選手に、そして私に力を与えてくれたことか………本当にありがとうございました。

特に選手たちに徹底してきたことは、「駆け引きのできるディフェンスをしよう」ということでした。とは言っても、部員8人の小集団………学校内での練習ではゲーム形式はもちろんのこと、なかなか私のイメージしている練習ができませんでした。週末の活動は保護者の車出しによる他校への練習でした。たび重なる体育館使用、そして、強化練習に気持ちよく場所を提供してくれた大原中(星野先生)、三郷北中(中田先生)、吉川南中（細津先生）等、県内の中学校のみならず、県内高等学校のチーム、全国でも強豪の浦和学院高校（岩本先生）、川口東高校（綿引先生）、地元吉川高校（相坂先生）等の高校生との練習試合で先輩たちの胸を借り、スピード、身体接触等の強化に取組めたことが大きな成果になったと思います。



この感激におごることなく、次なる感動を求めおおきなる夢、夏の全国中学校大会に向けて気持ちを新たに選手ともども歩んでいこうと考えています。私にとってこのような貴重な経験ができたのも、選手、本気で支援してくれた保護者の方々にめぐり会えることができたからだと思っています。「ありがとうございました。」

■全国大会を振り返って

吉川中央中ハンドボール部主将　染谷 健斗

1年生の頃から考えると全国大会は夢の大会でした。たった8人でここまでこれたのも先生との出会いや親の協力があってのことだと今はとても強く感じています。ここまで誰一人としてケガもなく、厳しい練習にたえてはげましあって頑張ってきた仲間達にとても感謝しています。たった8人だったからここまでコミュニケーションをとることができたし、先生の指示を本気で考えあえることができたんだと思っています。この大会で人数が少なくてもやればできるということを証明できてすごくうれしかったです。これからは頂点に立てたことを自信にして夏の大会にむけて今以上に本気で練習に取り組みたいと思います。

■全国大会を振り返って

吉川中央中ハンドボール部ゴールキーパー　加藤 芳規

私達のチームは、8人という人数で日々の練習に励んできました。全国大会で優勝できたのも一人一人が努力をしてきたからです。この大会で色々なチームと真剣に戦えたことを誇りに思っています。これからの課題として、まだまだ未完成のチームなので顧問の先生の指導のもと練習をより一層前向きに取り組み、毎日少しずつ技のレベルアップをしていくことです。そして、夏の大会でもう一度全国制覇をし、全員で喜びを分かち合いたいと思います。



女子優勝チーム　東久留米西中学校（東京部）

■団結力

東久留米市立西中学校ハンドボール部顧問　尾石 智洋

まずはじめに、今大会中（私たちは第一試合中でした）能登半島沖地震が起き、大変びっくりしました。被害に遭われた方々も報道等でたくさん耳にし、早期の復興を願っています。また、大会関係者の方々の対応は敏速で、生徒たちの精神的動揺も最小限に収めることができ、大変感謝しています。

お陰様で、第2回春の全国中学生ハンドボール選手権大会にて、前年度の男子に続き、女子も『日本一』になれたこと大変嬉しく思っています。

試合は、1回戦から苦しい展開でした。自分たちでやってきたことを最低限出せるように、頑張りました。しかし、緊張感もあり、いつも通りのプレーにはなかなかなりませんでした。ただ、気迫だけは、全員が持ち続けることが出来ました。体調不良や怪我等、気迫で乗り越えることが出来ました。本当によく頑張ってくれました。これも…今までの先輩たちから引き継がれた伝統であり、学校関係者、地域の方々、保護者の支援のおかげだと思います。その中でも、氷見出身の澤田さんには体調が万全でない中、応援ありがとうございました。澤田さんの姿を見て、子供たちは大会中、気迫を持って頑張れたのだと思います。このようなことから、東久留米西中ハンドボール部の「団結力」を改めて感じました。

また、今大会は私にとってとても印象深い大会でした。東京都男子の代表校の八王子館中学校の顧問、田中先生は、私が国分寺第五中学校でハンドボールを始めたときの恩師です。一緒に、全国大会に出場できることが嬉しく、また、大会前の練習も一緒にやらせて頂くことが出来ました。自分にハンドボールという競技のすばらしさを教えてくれ、今度は私が生徒の前に立ち、ハンドボールを教えているわけです。田中先生は、よく、今の生徒は孫だと言われます。今でもハンドボールのすばらしさを一人でも多くの人に伝えようとする先生を尊敬しています。優勝が決まった後、涙を流し喜んで下さる姿を見て、改めて感動し、感謝しました。私も、生徒と共に更に練習して、夏の大会でも頑張りたいと思います。



最後になりましたが、大会関係者の方々、地域のサポーターの方々には大変お世話になりました。本当に氷見という町は、ハンドボールを愛する町だと思います。そんな中で大会に参加させて頂けたことを感謝致します。本当にありがとうございました。

■全国大会を振り返って

東久留米市立西中学校女子ハンドボール部部長　足立 未奈

私たちは、3月24日～28日まで富山県氷見市で開催された、春の全国中学生選手権大会に出場しました。体調不良のメンバーが多い中で大会入りをしてしまいました。1回戦では、福井県代表の明倫中学校と対戦しました。このチームは何度も全国大会に出場している名門校です。初戦なので緊張や不安が大きかったですが勝利することができました。

試合中に地震があり、ビックリしましたが試合が無事終わりよかったです。2回戦は、香川県代表の香川第一中学校でした。小柄でスピードのあるチームでしたが自分達のプレーをすることができて良かったです。3回戦は山口県代表の岐陽中学校でした。ポスト中心で団結力を感じるチームでした。前半はペースをなかなかつかめませんでしたが、後半にペースを取り戻し、勝つことができました。4回戦の準々決勝では、福島県代表の郡山第一中学校でした。昨年はこの準々決勝で負けて悔しい思いをしたので、今年こそはという気持ちで、戦うことができました。準決勝は、沖縄県代表の神森中学校でした。速攻が速く個人技の強いチームでした。団結力を一層深め勝つことができました。決勝戦の相手は埼玉県代表の三郷北中学校でした。このチーム



写真提供：スポーツイベント社

はミドルシュートが上手く速攻の速い素晴らしいチームでした。決勝戦、独特の雰囲気の中で、緊張しましたが、みんなで気持ちを高めて、のぞむことができたと思います。前半は相手のミスもあり速攻などで得点し、4点差を付けて折り返しました。後半に入って、自分達の足が完全に止まり、相手の速攻などで追いつかれました。一進一退の攻防が続き、1点差の場面、残り3秒で7mスローを取られました。しかし、キーパーのファインセーブで試合が終わり、優勝することができました。最後まであきらめず、みんなの心が一つになっていたからこそ、日本一になれたのだと思います。ただ、この大会を通して、学んだことがたくさんありました。体調管理の点、技術的な点、夏に向けてしっかり練習し、がんばって行きたいと思います。そして何よりも、昨年のリベンジができて本当に良かったです。優勝できたのは、支えてくれた沢山の方々のおかげです。先生方、保護者の方々、先輩方、地域の方々本当にありがとうございました。



戦　　評

【男子】

▼準決勝

吉川中央（埼玉） 29（16－9、13－16）25 小島（長崎）

前半6分過ぎまで、両キーパーの好守に阻まれ互いにリズムに乗れない試合展開となったが、吉川中央中4番大村のポストシュートをきっかけに4連続得点で小島中をリードした。一方、小島中はタイムアウトで気持ちを切り替え、11番池田の鋭いミドルシュートから4連続得点で吉川中央中に追いついた。しかし、同点後は吉川中央中の逆速攻が決まりだし、9連続得点で一気に小島中を突き放した。小島中も前半終了前の連続得点でチームの勢いを取り戻したが、7点のリードを許しゲームを折り返した。

後半に入っても小島中は猛攻を続け、スカイプレーなども決まりだし、一気にチームに流れを取り戻したが、前半の失点を取り返せず、4点差で敗れた。小島中の粘り強いプレーと吉川中央中の力強いプレーが光った好ゲームであった。

郡山一（福島）28 （10－9、11－12）22 倉敷東（岡山）
（3－0 延長 4－1）

立ち上がりは両チームとも動きが硬く、4分過ぎで1－1というロースコアの滑り出しであった。その後、倉敷東は11番山本を中心にミドルシュートなどで得点を重ね、常に2～3点差のリードを保ちながらゲームは進んだ。15分過ぎから郡山一は、ハーフマンツーマン気味の1－5ディフェンスにシステムを変更した。これが功を奏しパスカットからの速攻で得点を重ね、24分過ぎに2番飛田の速攻で9－9の同点、更に終了間際、再び2番飛田の速攻で10－9と逆転に成功し、前半を折り返した。

後半に入っても郡山一のペースは落ちず、10分過ぎに16－13とリードを広げた。しかし倉敷東中も1本1本確実に得点を返していき、15分すぎに10番中川のミドルシュートで16－16の同点とした。その後、一進一退の攻防が続く目の離せない展開となり、両者一歩も譲らず21－21で延長に突入した。

延長に入り、郡山一はGK境田のファイトあふれる好守で、わずか1失点に抑える一方、7番山内のサイドシュート、4番澤田のミドルシュートなどで得点を重ね、28－22と粘る倉敷東を振り切り決勝進出を果たした。

▼決勝

吉川中央 27（14－12、13－6）18 郡山一

吉川中央のスローオフで始まった男子決勝。先制は吉川中

央7番越田の高い打点からのロングシュート。対する郡山一も3番古和田の力強いミドルシュートですぐに取り返した。序盤は両チームの持ち味が充分に出され、点の取り合いとなった。6分過ぎから郡山一はポストプレーなどで得点を重ね、11分過ぎには8－4とリード。そのまま流れをつかむかと思われたが、吉川中央中は5番後藤のロングシュートや3番染谷の連続速攻などの6連続得点で一気に逆転し、10－8とした。その後は、郡山一も5番村上のポストシュートなどで追いかけ、14－12と吉川中央が2点リードのまま前半を折り返した。

後半の立ち上がり、吉川中央が速攻やロングシュートなど3連続得点で17－12とリードを広げた。その後も吉川中央はフォーメーションプレーからのカットインやフリースローからの得点など、多彩な攻撃で点差を広げていった。郡山一はミドルシュートで何とか得点を上げようとするが、準決勝での延長戦を戦った疲労の色が濃く、吉川中央のGK 1番加藤のファインセーブもあり、長身のディフェンスを崩せなかった。結局、27－18で吉川中央が2年目の春の王者に輝いた。

【女子】

▼準決勝

東久留米西（東京）　26（13－8、13－11）19　神森（沖縄）

立ち上がりは両チームとも動きが固く、ミスが目立ったが、東久留米西の2番足立の速いパス回しから5番徳水のカットインで先取点を取り、東久留米西のペースで試合が展開された。それに対し、神森の2番宮城がフェイント、ロングを決め反撃するが、東久留米西GK奥住の好守からの速攻と速いパス回しで13－8と東久留米西のリードで前半を終えた。

後半神森中は、積極的なディフェンスとダブルポストの攻撃や14番渡井のロングシュートが決まるなど攻撃のリズムがとれ追い上げたが、終始速い展開の東久留米西が前半のリードを守りきり決勝に進出した。

三郷北（埼玉）　19（9－8、10－6）14　小町南部（石川）

前半、三郷北は、2番宇田、5番石井を中心にロングシュートとカットインプレーで得点を重ねる。対する小松南部は高い位置で守るディフェンスで応戦する。小松南部の攻撃は3番センター田中を中心にセット攻撃を組み立てる。巧みなボール回しからのフェイント、カットインと多彩な攻撃で得点を重ね、三郷北の1点リードで前半を折り返した。

後半、小松南部はゆったりとしたボール回しからフローターとポストプレーのコンビネーションプレーで点を上げていく。その攻撃に対応するため三郷北は、低い守りに切り替えた。終盤小松南部は相手両フローターに、マンツーマンで守り攻撃を阻止しようとするが、スピードを生かした三郷北のチームプレーが勝り、19－14で三郷北が逃げ切った。

▼決勝

東久留米西　24（14－10、10－13）23　三郷北

前半立ち上がりから、両校ともパスミス、シュートミス、ラインクロス等の小さなミスが多く、なかなか得点することができなかった。東久留米西は、セット攻撃を中心に巧みなパスさばきでディフェンスの間をつき、15番笠木、4番船谷のサイドシュートで得点した。また、5番徳水、6番中田のフローター、ポストのコンビネーションで得点を重ねた。一方の三郷北は、5番石井を中心に攻撃を組み立て、パスカットからの速攻や6番秋山のポストプレーで追いすがった。しかし、東久留米西は、フローターへの高いディフェンスで攻撃をかわし、4点リードで前半を終了した。

後半5分過ぎから東久留米西中は、2－4ディフェンスに切り換え、ロングシュートを阻む戦法に出た。また、攻撃では相手の逆を突くパス回しで、ポスト、サイドから得点を重ねた。三郷北は、2番宇田が高いディフェンスをかいくぐりロングシュートを決めた。また、堅いディフェンスからボールカットに転じ、6番秋山の速攻で得点を重ね、後半21分、22－22の同点に追いついた。その後、一進一退の攻防が続く中、東久留米西中が1点リードで迎えた残り3秒に三郷北が7mスローのチャンスを得た。しかし、GK奥住のファインセーブでゲーム終了。東久留米西が初優勝を飾った。

終始堅実なプレーで東久留米西中のゴールを守った奥住のキーピングが光った試合であった。

第4回 東アジアハンドボールクラブ選手権

◆最終順位◆
男子；1位斗山，2位ハナ銀行，**3位大同特殊鋼**，4位Beijing
女子；**1位オムロン**，2位Yonngin city，3位大邱市庁，
4位Beijing Army

◆表彰選手◆
◎MVP　男子；Joung Yi-kyoung（斗山），女子；**洪　廷昊（オムロン）**
◎ベストセブン
男子；Choi Seung wook（斗山），Joung Yi-kyoung（斗山），
白元喆（大同），Lin Song（Beijing），Park Kyung-suk（ハナ銀行），
Lim Duk-jun（斗山），Lee Chang-woo（ハナ銀行）
女子；**洪　廷昊（オムロン）**，Kwon Guen Hae（Yonngin city），
Li Bing（Beijing Army），**佐久川ひとみ（オムロン）**，**許　順栄（オムロン）**，Beck Seung-hee（大邱市庁），Lee Min Hee（Yonngin city）

東アジアハンドボール選手権報告

（財）日本ハンドボール協会理事／日本リーグGM　田中 茂

2002年に発足した東アジアハンドボール連盟、2004年からは東アジアハンドボール連盟主催大会として、第1回東アジアハンドボール選手権が韓国で開催され、今年で4回目をむかえる運びとなりました。第1回を韓国で、第2回を中国で、第3回を日本（京都）、そして第4回大会を4月3日から5日までの3日間、韓国で開催しました。

日本からは、第31回日本ハンドボールリーグ覇者の男子は大同特殊鋼、女子はオムロンが出場。地元韓国の2チーム、中国1チームの4チームによる1回戦総当りのリーグ戦形式で試合を行いました。成績は、大同特殊鋼は1勝2敗、3位。オムロンは昨年に引き続き全勝で2連覇を達成しました。

強かった韓国男子・**オムロンは2連覇**

大同特殊鋼の戦いは、チームがプレーオフに焦点を合わせていたため、コンディションがベストの状態で臨む事ができず、また主力にけが人を抱え大同らしい試合展開をすることができなかった。

優勝、準優勝した韓国の両チームは、若手を中心としたチーム構成でDF、OFともにスピーディーな展開で他のチームを圧倒した。

オムロンはプレーオフ同様、連覇のかかった大会でプレーオフの勢いをそのまま持続し見事に連覇を達成した。



懐かしい韓国の選手達

大会運営も韓国協会を中心に、日本で活躍した韓国選手の男女OB・OGの多くが会場で運営を手伝い、懐かしい選手達との交流もありました。

表彰パーティーでは、チーム表彰、個人表彰後、各チームによる交流も盛んに行われ、選手達も普段コートの上では見せることのない表情でパーティーを大いに盛り上げてくれました。

さて、来年の第5回大会は中国で行われる予定でありましたが、中国が北京オリンピックを開催する関係で、第5回大会は日本で開催する事が決定いたしました。

東アジアのレベルを上げていくためにも重要なこの大会、今後も東アジアが結束を高め、意義ある大会になるようにしていかなければならないと思います。

最後になりますが、連日熱戦を展開した、韓国、中国、日本代表チームの皆様に深く感謝したいと思います。ありがとうございました。

戦　評

【男　子】

大同特殊鋼　35（19－16、16―13）29　Beijing

［戦評］Beijingボールでスタート。前半5分は一進一退の攻防が続く。大同・武田がロングシュートや速攻で活躍し、15分には12－6とダブルスコアにし一気にBeijingを突き放すかと思われた。しかし15分以降、大同のオフェンスに大同らしからぬシュートミス、テクニカルミスが続き、Beijingに速攻、セットで高さを活かしたロングシュートで25分には15－14の1点差とされる。残り5分、大同はタイムアウトをとり、オフェンスリズムをとり戻し加点、前半19－16で折り返す。

後半も前半同様に大同の得点で始まり、10分過ぎには26－20としたがその後攻撃のシュートミス、テクニカルミスを連続してしまう。しかし後半10分過ぎから入ったGK荻田のファインプレーもあり、Beijingも連続得点するものの5点差が縮まることはなく大同が勝利した。武田、白の活躍が目立った試合であった。

この試合のMVPに白元喆が選ばれた。

〔得点者〕武田 8、白元喆 7、山本 5、李才佑・末松・富田 4、松林 2、服部 1

斗　山　29（16 － 14、13 － 10）24　大同特殊鋼



写真提供：スポーツイベント社

［戦評］前半、斗山ボールでスタートし、開始から斗山９番の力強いロングシュートによる連続得点を許す。大同は斗山の高いアグレッシブなディフェンスを攻めあぐね、ようやく４分武田のシュートで得点。その後は、大同もオフェンスのリズムをとりもどし、得点はするものの、斗山のロングシュート、ポストとのコンビプレーによる得点を許し前半を 14 － 16 の２点リードで終了する。

後半開始、斗山はアグレッシブな６－０ディフェンスでスタートし、大同の内側の攻撃をしっかり守る。大同は、無理な体勢でのシュートが多くなり、ことごとく GK に止められてしまい、攻撃のリズムをつかめないまま時間だけが進んでいく。斗山は、オフェンスでも力強い攻撃を継続し、後半 15 分過ぎから点差を広げていく。大同も白、山本で得点するも、結果的にはシュートミスが多く、５点差で斗山が勝利した。

〔得点者〕白元喆 7、山本 5、武田 4、末松 3、李才佑・服部 2、岸川 1

ハナ銀行　38（19 － 11、19 － 23）34　大同特殊鋼

［戦評］前半、大同ボールでスタートしたが、ハナ銀行のアグレッシブな３－２－１ディフェンスに対して、大同は間を割っていくことができず、無理な体勢でのシュート、ロングシュートとなかなかノーマークをつくることができない。ノーマークの場面も何度となくあったが、ハナ銀行 GK に前半で７本止められ攻撃のリズムがとれない。大同は、ハナ銀行 20 番、10 番を中心にしたスピードある攻撃に対応ができず、前半だけで 19 失点してしまう。


写真提供：スポーツイベント社

後半に入り、大同は、ハナ銀行の攻撃の中心 20 番にマンツーマンに付き、ハナ銀行の攻撃のリズムを崩そうとしたが、ハナ銀行は、広くなったポストを中心に攻撃し、逆に得点差を広げていく。大同オフェンスは、後半もノーマークシュートミスが続き、点差をつめることができない。残り 10 分、大同も日本チャンピオンの意地を見せ６連続ゴールをするものの、前半の得点差がひびき、相手に終始リードを許して４点差で終了した。

ハナ銀行はポストでの得点が 12 点、大同はノーマークを 12 本はずす。大同は、今大会３戦１勝２敗で３位となった。

〔得点者〕李才佑 8、山本 7、白元喆 5、岸川 4、末松・武田 3、松林 2、富田・渡久川 1

【女　子】

オムロン　31（18 － 9、13 － 14）23　Beijing Army

［戦評］Beijing ボールでスタート。前半立ち上がりからオムロンの６－０ディフェンスが機能し、オフェンスでは速攻、カットイン、ロングシュートと多彩な攻撃を展開し、10 分には６－３とする。その後、Beijing も高さのある№ 14 の連続ゴールで加点するも、要所でミスが続き、オムロン・佐久川・水野の速攻のスピードにも対応できず、20 分には 12 － 6 と点差を広げる。その後も着実に加点し、前半を 18 － 9 で終える。

後半立ち上がり、Beijing14 番の連続ゴールがあったものの、ＧＫ勝田を中心にディフェンスからの速攻で加点していくオムロン。後半 10 分過ぎに 13 点差としたところで、GK 勝田、CP 洪をベンチに下げる余裕の展開に。しかし 15 分過ぎ代って入ったメンバーのオフェンスリズムが合わず、シュートミス、テクニカルミスを連続し、Beijing に速攻と 7m スローで連続得点を許すが、前半でのリードを守りきり勝利した。後半ロングシュート、カットインと活躍した吉田がこのゲームの MVP に選ばれた。

〔得点者〕吉田 7、洪廷昊 5、佐久川・東濱 4、安心院・坂元・城内 3、水野 2

オムロン　34（16 － 14、18 － 16）30　Yonngin city

［戦評］大観衆で埋まった会場は、Yonngin city 応援一色。そんな中スタートした前半は、開始早々、両チームともセットオフェンス、速攻ともなかな得点が決まらずリズムがつかめない。しかし、開始５分、Yonngin city の 7m スローで１点目が決まり、試合が動き出す。前半 17 分までは、Yonngin city が常にリードする展開だったが、20 分に洪、水野、佐久川の速攻でオムロンが９－９の同点に追いつく。そこからは一進一退の流れとなったが、25 分には吉田の 7m スローや水野の速攻、東濱の得点で逆転に成功、オムロンの２点リードで前半を折り返す。

後半、開始早々から、佐久川の速攻、サイドシュートが


写真提供：スポーツイベント社

よく決まり、完全にオムロンが主導権を握る。Yonngin city にセットで得点を決められるものの、オムロンの勢いは止まらず 14 分には最大で８点のリードを奪う。しかし、Yonngin city も反撃に出て、洪にマンツーについて、連続得点に成功し、30 － 28 とオムロンに２点差まで迫る。しかし、オムロンはそれ以上の追い上げを許さず、着実に得点を重ね４点差で勝利をおさめた。

この試合の MVP に、オムロンの洪廷昊が選ばれた。
〔得点者〕佐久川・洪廷昊 8、水野・許順栄 5、吉田 4、坂元 2、安心院・東濵 1

オムロン　28（15 － 7、13 － 13）20　大邱市庁

［戦評］前半、大邱市庁の得点でスタートするが、すかさずオムロンも安心院のステップシュートで得点。両チームともセットオフェンスで攻撃、一進一退の展開が続く。しかし、オムロンは、GK 勝田の好セーブやディフェンスがよく機能し、15 分過ぎから着実に得点を重ね、大邱市庁とのリードを広げていく。26 分過ぎには、洪、許の速攻も飛び出し、８点差という大量リードで前半を折り返す。

オムロンは、前半の流れを後半も続け得点を重ねる。13 分には最大 13 点差とする。しかし、大邱市庁も負けじと 14 分過ぎにセットで連続得点をあげ、オムロンとの差を縮める。オムロンは、大邱市庁の GK にシュートを阻まれるなど苦戦する場面もあったが、セットで得点、危なげない試合運びで勝利した。


写真提供：スポーツイベント社

この試合、前後半とも華麗かつ迫力のあるシュートで８得点と活躍した洪廷昊が印象的だった。この試合の MVP に、オムロンの佐久川が選ばれた。オムロンは、この大会を３戦全勝とし、昨年に引き続き優勝した。
〔得点者〕洪廷昊 8、東濵 6、坂元 4、安心院・吉田 3、許順栄・佐久川 2

大会に参加して

男子

東アジアクラブ選手権を終えて

大同特殊鋼ハンドボール部監督　清水 博之

お陰様で日本リーグＶ２を達成し、日本の代表として東アジア選手権に参加してきました。大会は４月２日から５日間韓国ソウルで開催され、中国、韓国（２チーム）、日本と合計４チームでリーグ戦を行いました。

05 年度は京都で開催され、韓国チームに敗れ２位という結果に終わりました。今年は昨年の屈辱をはらし優勝といきたかったのですが、またも韓国チームに２敗し、３位という不本意な結果となりました。

私が今大会で感じたことは、実力的な差は昔ほどなく、殆ど互角に近い戦いはできるも、韓国チームの「ここ一番の勝負強さ」「勝ちへの執念」は大同チームに優るものがありました。これはハンドボールの技術・体力的な話ではなく、メンタル的な部分で、「戦う」という本質を選手がよく理解しているということだと思います。国の代表チームとして他国のチームには負けられないという、強い気持ちと拘りがありました。

大同チームが東アジアチャンピオンになるためには、この部分を強化しなければならず、帰国後早々にトレーニング励んでいるところです。

９月には豊田市で北京予選が開催されますが、ここで得た貴重な経験を大同のナショナル組が活かし反映させ、是非切符を手にしてもらいたいと願っております。また、07 年度もまずはリーグＶ３を達成し、今年度こそは東アジアのチャンピオンでリベンジを果たせるよう、日々精進して参ります。

最後に、今大会を開催するにあたりご尽力いただいた日本協会・関係者の皆様方、またご声援くださったファンの方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

東アジアクラブ選手権を終えて

大同特殊鋼ハンドボール部キャプテン　白　元喆

昨年度は実業団選手権、全日本総合、日本リーグと、３つのタイトルを取る事ができ、チームとして 27 年ぶりの３冠を達成する事ができました。

これもひとえに日頃から皆様方の多大なる声援や後押しがあったからこそ達成できた事だと感じています。

この勢いと日本チャンピオンとしての意地でなんとか東アジアクラブ選手権のタイトルも取ろうと大会に臨みましたが、韓国チームのスピードと精神力に押され３位に終わりました。姜 在源監督の最後の指揮ということもありなんとか

勝ちたかったのですが残念です。しかし、若手選手の積極的な起用もあり、大きな経験と自信を付ける事ができ、実りある大会だったと思います。

大会を終えて今感じる事は、日本のチームは韓国チームと比べて個々の強さが少し劣っていることです。スピードやテクニックももちろんありますが､精神面（勝ちに対する執念）が韓国チームの方が上回っている気がします。この差を埋めるには、常に高い目標を持ち、日々のトレーニングの時から試合を意識する事が大切だと思います。

今回３位に終わった悔しさを忘れることなく、今年度も悲願の４冠達成に向けて日々努力していきます。そして来年日本で開催される東アジアクラブ選手権では韓国チームを倒し、東アジアのタイトル必ず手に入れます。

今年度もスピーディーなハンドボールで皆様を魅了しますので、変わらぬ声援宜しくお願い致します。

女子

東アジアクラブ選手権に出場して

オムロンハンドボール部ヘッドコーチ　黄　慶泳

大会の準備

日本のチャンピオンとして東アジアクラブ選手権の出場権を獲得出来ました事を大変光栄に思います。またここに至るまで多大なご支援、ご声援いただいた皆様に大変感謝しております。

長丁場の日本リーグが終わった後で体力的な負担が心配でしたが、大学生との練習ゲーム等で試合感覚を維持させる事に重点をおき、対戦相手に対する戦術の確認をしました。

試合について

■第１戦：中国　Beijing Army

相手の長身を活かしたDFをいかに崩すか、そしてポストを起点とした攻撃をいかに守るかがこの試合の課題であった。DFでは、相手の動きを早めに遮断しボールカットや相手のミスを誘い、それを速攻に繋げ前半を18－9と大きくリードし折り返した。後半は、若手選手を起用するなど余裕をもったゲーム運びで31－23で勝つことができた。

■第２戦：韓国№１　Yonngin City

相手はセンターバックを起点とした攻撃、そして、６：０から積極的に攻めてくるDF。それに対しどのような対応をするかが課題であった。前半はポスト許を起点とした攻撃で得点を重ねるものの相手の速攻や、速いスローオフ攻撃に苦しい展開が続いた。後半に入り相手の攻撃の中心であるセンターに対し、高い位置でプレッシャーを与えることで相手攻撃のリズムを崩すことに成功し、最終的に34－30で逃げ切った。

■第３戦：韓国№２　大邱市庁

相手は韓国代表のエース率いるチーム、地元開催ということもあり意地を見せたい大邱市庁。激しいコンタクトプレーなどが予想された。試合開始早々、予想通り相手の激しいコンタクト等で互いに警告・退場者などが多くでた。しかし、冷静を取り戻し、相手エースに対しプレスをかける変則的な守りと、速攻でコートを広く使った攻撃が活用でき着実に得点を重ね前半を15－7とリードした。勝負を早めに決めることができ、後半は若手選手の起用、戦術の対応力を図り28－20で勝利し、この大会を優勝で飾ることができた。

準備や色々な面で､不安を抱えた中での大会ではあったが、選手たちの勝ちたいという気持ち、そして遠方より会場まで足を運んでくださった方々のお陰で、東アジアクラブ選手権２連覇を達成することができたことに、大変感謝しております。

この東アジアクラブ選手権での３連覇という歴史に挑戦したいという気持ちはありますが、その前に国内リーグで勝ち抜く為強化に努めてまいります。引き続きご声援の程よろしくお願いします。

東アジアクラブ選手権を終えて

オムロンハンドボール部キャプテン　佐久川ひとみ

昨年に引き続き、東アジアクラブ選手権で２連覇を達成出来ました事を大変嬉しく感じています。プレーオフでの優勝を自信とし、また日本の代表としてアジアの大会に参加できた事もチームにとって非常にいい経験となりました。

試合を振り返ると、初戦の中国チームは背が高く、パワーもあっていつもの守り方では押し込まれてしまうという事でラインを高くし、シュートを打たせないよう積極的にボールをつぶしにかかりました。前半が終わる頃から相手の体力が落ち始めたので、速攻で得点を重ね、初戦を突破しました。２戦目の韓国１位代表のYonngin City戦では、試合開始からシュートミスを連発してしまい、なかなかリズムをつかめず苦しい時間帯が続きましたが、その分相手のスピードある攻撃を守ることでカバーし､最終的に４点差で勝利しました。最後は昨年も対戦したことのある大邱市役所戦、左利きのエースである選手を中心に守りながら、速攻やセットプレーにつなげて得点を重ね、優勝という結果に結びつきました。

全試合を通して、今後の課題となったのが予測しながらのDF、OFでの安易なミス、そしてシュートミスだと感じています。試合の流れを予測し、確実性のあるプレーをすることが勝負において大切なこと、高い集中力をもってこれからも試合に臨んでいきたいと思います。

優勝にあたって沢山の方々にお世話になり、ご支援ご声援いただいたおかげで優勝という結果につながりました。今後とも感謝の気持ちをもって取り組んでいきます。

北 京 へ の 道 3

日本代表女子チーム強化合宿訪問から

5月7日（月）～12日（土）にて熊本県のオムロン体育館で行われた全日本女子チームの合宿を最終日の12日に訪問し、ベルト・バウワー監督と、佐久川ひとみ主将から北京に向けての抱負を語って戴きました。

Interview
ベルト・バウワー監督



Q1：今回の合宿の目的は？
A1：選手たちの状態を把握してコミュニケーションを取りながら今後の見通しを立てることにある。今回20名が参加したが、これから少しメンバーを絞り、ヨーロッパ遠征、ヒロシマ国際、ソウルカップ、そして予選に臨むことになる。

Q2：監督就任以来、選手たちに一番時間をかけて指導したことはどのような事ですか？
A2：コンパクトな6：0ディフェンス、速攻でボールを運ぶときの攻め方、攻撃ではシステムを使ってどのように攻めるかなどに時間をかけた。これらによってワイドに攻めることが出来るようになった。

Q3：それらをどのように8月のオリンピック予選に活かすのでしょうか？
A3：自分たちのベースになるものを固めて自動的に試合中に出来るようにすることと、選手たちが試合中に良い気分の状態にあることが大切である。6：0ディフェンスに関してはコンパクトに守れるようになったが、それ以上に非常にアグレッシブなものを強調したい。6：0から急に3：2：1に変化させ、再び6：0に戻すなどをミックスさせたい。基本となるのは6：0ディフェンスであり、その中で日本の特徴であるオフェンシブなディフェンスを試合中に取り入れて、試合の流れを変える、或いは主導権を握るようにしたいと考える。

攻撃ではシステムを使いながら攻めるのに慣れてきたが、あとはそれをどのように相手に対して効果的に使うかを考えていかなければならない。我々はそのシステムを使ってダイナミックに相手を揺さぶるのだが、一番の日本の特徴は切り返しの速さにあり、逆に遠くから打つシュートは弱いので、大きく相手を揺さぶった後に切り返しの出来る、ゴールに向かうようなパラレルなプレーを武器にする。

Q4：8月のアジア予選に向けての課題は？
A4：攻撃では横に逃げないでゴールに向かうプレーを行うこと。ディフェンスでは必ずコンタクトすること。またゴールキーパーとコートプレーヤーのコミュニケーションとコンビネーションの充実を図ること。この3点を6月のオランダ・スイスの遠征で徹底的にかつ継続的に実行する。これらは先ほどのミーティングの席で話したものである。また引き続きの課題としてフィジカルのアップが挙げられる。今回の合宿ではフィジカルの再評価と今後のトレーニングの個別対応の提示を行った。昨年8月に実施以来、当初は格段の伸びを示したが、シーズンに入ってからは各自のチームに任せてしまい、今は少し落ちた状態になっている。今後はこの再評価に基づき、チームに戻ってから何をしなければならないのか明らかにした。全日本のトレーナーと密に連絡を取りながら特に上半身のフィジカルの強化を行うように指示した。

Q5：カザフスタン、韓国を負かす戦術、戦略があれば聞かせて欲しい。
A5：自分たちの力を信じてプレーすることが第一である。カザフスタン対策として午前中のミーティングでドーハのアジア大会でのカザフスタン戦のビデオをレビューした。今回の敵地カザフスタンでの対戦は完全アウェイ状態になり、ものすごいファイトと体で当たり負けしないことが必要である。ミスをしないことも重要なキーである。我々はこれから攻撃などを改善していくので大きなチャンスとなるだろう。一方韓国のハンドボールは非常にハイレベルである。その韓国には今まで10回戦い、1～2回程度しか接戦になっていない。その接戦になったチームの状況を対戦当日に持ってい

くようにコンディションを調整する。韓国の弱点は分かっている。その弱点に気付く選手が少ないのだが、それに関してメンバーと対話をしていきたい。

Q6：日本選手のいいところは？　また改善すべきところは？
A6：長所はスピードと切り返しの速さ。グループとしてのまとまり、いつもハンドボールに向かう真面目な態度と姿勢。チーム間の会話もいい点だ。弱いところはフィジカル、これに関係して相手ディフェンスにコンタクトされたときのプレーが課題となるところだ。

Q7：全国のファンに対してアジア予選に賭けるメッセージをお願いしたい。
A7：我々ができること、行ってきたことをきちんと全力で実行し、結果を残したい。

■最後に日本の若いハンドボーラーへのアドバイスとメッセージを。

気持ちを込めたプレーを行い、シャイになることなく堂々と立ち向かう姿勢を持って欲しい。体が小さいことを気にする必要はない。その代わりにあなたたちは頭が良く、俊敏性という優れた才能を持っている。それで十分カバーできる。日本の将来は明るいものがあると思っている。

全日本チーム合宿から


東濱選手（左）・坂元選手（右）　藤本コーチ


GKの4選手（左から、田代、飛田、田中、勝田）

佐久川ひとみ主将のオリンピック予選に向けての抱負



日本の特徴であるスピードに自信を持ち、それを最大限活かしたい。しかしオリンピック予選では楽に勝たせてくれる試合はないと思う。一戦一戦を大事に戦わないと勝利はないでしょう。体を張って60分間アグレッシブに試合をして、結果は最後についてくるものと信じている。全員の力で戦い抜き、最終的にオリンピックの切符を取れたらなと思っている。

ボールゲームフェスタ in 豊田から……その日まで後、3ヶ月余り

オリンピックアジア予選への準備は着実に進んでいる。2007年4月14日（土）、4月に竣工し9月の北京オリンピック男子アジア予選会場となる豊田市「スカイホール豊田」にて、オープニング事業の一環として、「ボールゲームフェスタ in 豊田」が開催された。会場の「スカイホール豊田」は、名鉄三河線・豊田市駅から徒歩でも15分足らずの処にあり、真新しいフロアーは45ｍ×80ｍ、裕にハンドボールコートが3面取れる最新鋭の総合体育館である。他の競技のデモンストレーションもあったが、ハンドボール競技では全日本男子代表と地元愛知県トヨタグループ選抜とが、オリンピックアジア予選プレゲームとして対戦をした。全日本男子代表は、予選大会に向けて地元の利を最大限に発揮すべくその一歩を今、記す事となった。ゲーム展開は、チャンピオンブルーをまとった全日本男子代表がリマニッチ監督の大きなジェスチャーの指示の元、中川・宮﨑・末松・豊田らが迫力とスピードに溢れたプレーを随所に発揮し観衆を唸らせた。全日本男子はこれから国内強化合宿と海外遠征、更にジャパンカップ2007等の試合を重ね、9月のアジア予選に臨むことになる。日本中のハンドボール関係者とファンの総力を結集させ北京への道を切り開こう。





さる、4月28日（土）、29日（日）の両日、南房総市富浦町原岡海水浴場 「特設コート」 にて、男子が4チーム・女子は3チームが参加して、第9回全日本ビーチハンドボール選手権大会が開催されました。各優勝チームから喜びの声を掲載致します（試合結果は「スコアールーム」に掲載いたします）。

女子優勝

全日本ビーチハンドボール選手権大会４連覇！

あぶらおおめ　三瓶 佳世

4月29日、晴天の中、千葉県富浦町で第9回全日本ビーチハンドボール選手権大会が行われました。普段は違うチームで戦っているみんなと、“大いに笑い、大いに飲み、大いに食べて、目一杯楽しむ！　そして負けるのは悔しいからがんばっちゃう！” そんな仲間が集まり結成された「あぶらおおめ」として大会に参加するのも今年で5年目。最初は楽しもう！を合言葉に。それが勝って美味しいお酒を飲もう！となり、最終的には絶対負けない!!と、いつの間にか真剣になってしまう私たち。見た目もチーム名をうらぎらない私たちですが、うれしいことに4連覇を達成しちゃいました。これも、ビーチのためならと調整してくれる仲間の協力あってのこと。毎年参加でき楽しんでいます。チームのみんなにも感謝です。

私たちがいつも楽しくビーチハンドをできるのも、前々から準備し、当日の円滑な進行をしていただいている実行委員の皆様のお陰です。本当にありがとうございます。そしていつもご協力いただいている富浦町にも感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。



ビーチハンドボールは、スカイプレー・キーパーシュートが2点となります。交代陣地が左右に分かれ、広いのも特長で、試合展開も早いです。また砂浜でのプレーは思った以上に体が動かず、疲れます。普段行なっているハンドボールとは違った楽しさがあるのでぜひ一度経験してみて欲しいです。

7月のサマーカップでも「あぶらおおめ」らしく楽しみ、勝ち上がっていきたいと思います。

これからもみんなでビーチハンドボールを盛り上げていきたいと思います！

男子優勝

全日本ビーチハンドボール選手権大会に参加して

あふた～ずキャプテン　大澤 徳恭

千葉県富浦町で行われた第9回全日本ビーチハンドボール選手権大会で、前年に引き続き優勝することができました。これも協力してがんばったチームのみんなと大会運営していただいた関係者各位のおかげだと思います。

この場をお借りして御礼申し上げます。

ビーチハンドボールは、普段行われているハンドボールのルールとは少し違いますが、実際やってみるとあまり違和感なくプレーできます。また砂浜でのプレーは体が思うように動かなくむずかしくも感じますが、これも楽しさの一つだと思います。

僕たちのチームは、ハンドボールの初心者から現役を離れてだいぶブランクのある選手もいますが、毎年行われているビーチハンドボールを楽しみにしています。自然の中で慣れないプレーに一喜一憂し、また新しいプレーを考えてみたりと貴重な経験をさせていただいています。

まだ経験されていない方は是非参加してみてはいかがでしょうか。少しでも参加者や参加チームが増えてメジャーになっていければいいと思います。参加した際には、一人ひとりが海をきれいにするとともにビーチハンドボールを盛り上げて、今後も大会が末長く運営されることを願っています。

今回の優勝を活かし、今後も全力でやって楽しいチームを目指し頑張っていきたいと思っています。

平成19・20年度　（財）日本ハンドボール協会・役員

役職名	氏名	職務分掌
名誉会長	米倉　功	
会　長	渡邊佳英	国際
副会長	市原則之	上部団体・日本リーグ
副会長（特任）	山下　泉	
副会長（特任）	竹野奉昭	
副会長（特任）	鶴保庸介	
専務理事	川上憲太	マーケティング本部長兼任
常務理事	西窪勝広	総合企画室長
常務理事	兼子　真	事務局長・総務本部長
常務理事	角　紘昭	普及本部長
常務理事	蒲生晴明	強化本部長
常務理事	江成元伸	競技本部長
理事（常務理事待遇）	伊藤宏幸	総務副本部長
理事（常務理事待遇）	大橋則一	マーケティング副本部長
理事（常務理事待遇）	島田房二	競技副本部長
理事（常務理事待遇）	田中　茂	日本リーグＧＭ
理　事	大畑孝広	実業団連盟
理　事	福地賢介	学生連盟
理　事	森安昭雄	高体連
理　事	高山重雄	東ブロック（東北）
理　事	奥田政俊	中ブロック（近畿）
理　事	宮元章次	西ブロック（九州）
監　事	川上整司	総務・財務・強化・全般
監　事	高田日呂美	普及・全般
監　事	荘林康次	国際・マーケティング
参　事	石塚廣一	中体連
参　事	古屋正俊	高専体協
参　事	小西博喜	車椅子
参　事	武田節夫	北海道
参　事	稲生　茂	関東
参　事	濱野大助	北信越
参　事	杉本眞一	東海
参　事	山本　一	中国
参　事	佐藤公美	四国
参　事	西山逸成	アンチドーピング
参　事	上原信子	女性
参　事	中野利一	10万人会
参　事	関　健三	ＮＴＳ
参　事	村松　誠	総務（財務）
参　事	堀　美和子	総務（広報）
参　事	近久紀人	総務（機関誌）
参　事	出原　理	総務（インターネット）
参　事	笹倉清則	普及（指導）
参　事	佐藤　靖	普及（学校体育）
参　事	本間誠章	普及（ビーチ）
参　事	小山哲央	普及（マスターズ）
参　事	坂本静男	強化（医事）
参　事	大塚文雄	競技（用具検定）
参　事	志々場修二	競技（スケジュール）
参　事	後藤　登	審判（国際）
参　事	越田義昭	審判（指導）
参　事	萩原宏人	マーケティング

～ドーピングへの認識を～

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー Free Throw

年度が新しくなった途端、スポーツ界がにぎやかになった。でも、あまり歓迎される「にぎやかさ」ではない。プロ野球西武の現金供与に端を発した裏金問題。それに続いて高校野球界の特待生制度に発展、波紋を広げた。かねてからささやかれていたことでもあり、問題の根は深いと言わざるを得ない。

続いて問題が起こったのがJリーグでは初めてのドーピング規定違反だ。J1川崎の日本代表ＦＷ、我那覇選手が練習後に体調不良を訴え、チームドクターが疲労回復効果があるといわれる通称「ニンニク注射」を打った。これがドーピングコントロール委員会で静脈注射が許される「緊急かつ合理的な医療行為」と認められず、違反行為とされ、我那覇に6試合の公式戦出場停止、川崎に制裁金1,000万円が科せられたものだ。

これに対し、Jリーグ全31クラブのチームドクターが連名でリーグの対応と処分を不服として質問状を送った。「適正な医療行為」と指摘、違反基準の明確化を求めた。

確かにドーピング違反は許されることではない。身体への影響はもとより、フェアプレー精神にも反することである。

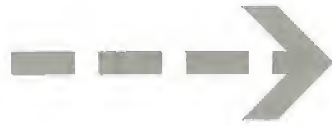
今回のJリーグの〝事件〟を待つまでもなく、日本ハンドボール協会にも「アンチ・ドーピング規程」がある。「ドーピングの定義」から始まり、15条にわたって細かく記されている。また、文科省は5月に、ユネスコ総会で採択された「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」が今年2月に発効されたのを受けて「ガイドライン」を策定、各競技団体にいっそうの取り組みを呼びかけた。

ドーピング違反はオリンピックをはじめ各種大会を見ても、後を絶たない。しかし、スポーツと医学の倫理に反していることは明白である。そこでの勝者は決して見逃されてはいけないことであるし、たとえ金メダルに輝いたとしても胸を張って讃えられるべきでもない。

そうした中で、選手を守るのは所属団体である。日ごろから正確な認識をもつことが重要である。選手はチームにとっては「宝」。その「宝」を無残な目にあわせるわけにはいかないし、損失だ。改めて「ドーピングの罠」には気をつけたいものである。

呼吸する建築





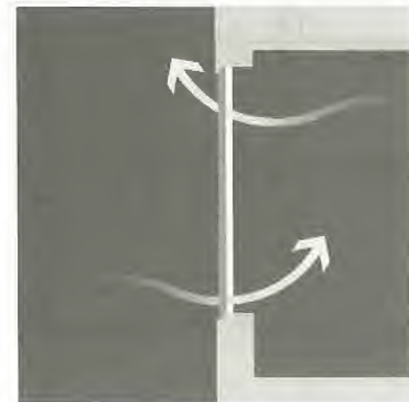

Swindow●スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。






Wincon●ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。



Cavcon●キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

NTS2007報告

NTSコーディネーター　田中　茂

2000年からスタートしたNTS、本年度も各カテゴリーともに世界のハンドボール動向をしっかり見据えた上での充実した内容のトレーニングが展開される事となっております。

また各地で行われますブロックトレーニングの日程・開催地も次号でお伝えいたします。

既に、今年度もNTS内容策定会議、シミュレーションを行い昨年度の課題を中心に、世界で勝つための技術・戦術をより充実させたトレーニングにと考えております。

今年度も、各ブロックから始まりますNTSにご協力いただけますようお願い致します。

なお、昨年度１月に開催いたしましたセンタートレーニング年代別合格者を掲載いたします。

平成19年度NTSセンタートレーニング年代別合格者

Under男子日本代表チーム年齢別強化指定選手

年代	選手名	ポジション	身長	所属先
1988年	久保侑生	GK	186	筑波大学
	小室大地	CP	188	日本体育大学
	仁平昌利	CP	187	早稲田大学
	笠原謙哉	CP	194	東海大学
	時村浩幹	CP	185	大阪体育大学
	坂洋明	CP	185	法政大学
	小賀野龍也	CP	191	中央大学
1989年	信太弘樹	CP	188	藤代紫水高校
	成田幸平	CP	188	洛北高校
	今元勇輝	CP	190	那覇西高校
	植垣貴志	CP	183	大阪体育大学浪商高校
	東江太樹	CP	180	那覇西高校
	井上元輝	CP	185	湯沢高校
1990年	木村昌丈	GK	184	藤代紫水高校
	久保龍太郎	CP	182	香川中央高校
	宮本克哉	CP	176	育英高校
	内野康平	CP	181	瓊浦高校
1991年	糟屋周穂	CP	188	瓊浦高校
	菅野純平	GK	185	湯沢高校
	瀬田舜介	CP	191	瓊浦高校
	高橋圭介	CP	183	羽後高校
	萩原良太	GK	185	駿台甲府高校
	稲積翔平	CP	180	氷見高校

Under女子日本代表チーム年齢別強化指定選手

年代	選手名	ポジション	身長	所属先
1988年	山上麻美	CP	170	大阪体育大学
	山野由美子	CP	168	筑波大学
	石野実加子	CP	168	筑波大学
1989年	鳥飼翠	CP	170	日本女子体育大学
	作内杏那	CP	174	筑波大学
	塩田沙代	CP	172	香川銀行
	戎野満梨奈	CP	175	四天王寺高校
	増田寛那	CP	174	大分鶴崎高校
	高良温子	CP	164	那覇西高校
	橋本千里	GK	170	高津高校
1990年	中西朋代	CP	161	小松市立高校
	炭床ともみ	GK	170	宮崎学園高校
	翁長和佳子	CP	174	陽明高校
	川俣ゆかり	CP	172	蒲生高校
	工藤咲	CP	167	大分鶴崎高校
	森鈴菜	CP	166	那覇西高校
	乾沙友美	CP	172	洛北高校
1991年	松尾佑依	CP	165	福岡女子商業高校
	原希美	CP	171	宮崎学園高校
	柴崎仁美	CP	175	高松商業高校
	角南涼	CP	167	洛北高校
	安倍千夏	CP	173	不来方高校
	網谷涼子	GK	172	飛騨高山高校
	鬼澤理紗	CP	165	向陽高校

平成19年度第10回ハンドボール研究集会要項「ボール運動教材としてのハンドボール ―その10―」

1．**趣旨**　平成10年度に発表された小学校新学習指導要領において、ハンドボールが「ボール運動」領域の内容の取扱いの中で、「加えて指導することができる」教材として初めて採用された。このことは、ハンドボールの教材としての価値が認識されたためであると考えられる。
小学校期にボールゲームとしてのハンドボールに親しむことは、生涯スポーツへの参加意欲を高めることにもなろう。すでに新学習指導要領が全面実施されているが、本研究集会では、このようなハンドボールの魅力や諸特性に対して認識を深めると同時に、子どもたちの発育・発達に見合ったハンドボールの授業づくりについて研修する。

2．**主催**　（財）日本ハンドボール協会

3．**主管**　岡山県ハンドボール協会

4．**後援**　文部科学省　岡山県教育委員会　岡山市教育委員会

5．**対象**　小学校・中学校及び高等学校教諭　教員養成大学学生・大学院生及び教官　地域スポーツ指導者、日本ハンドボール協会J級指導員等

6．**会期**　平成19年8月6日（月）・7日（火）

7．**会場**　岡山県・桃太郎アリーナ　〒700-0012　岡山県岡山市いずみ町2-1-3　TEL（086）253-3944　FAX（086）253-8900

8．**日程**
8月6日（月）　受付　12：00～12：30／開会式　12：30～12：50／講義　12：50～13：50（講師　国士舘大学体育学部教授　池田延行）／研究発表　14：00～15：10／実技研修　15：30～17：00（講師　東京学芸大学教育学部附属世田谷小学校教諭　内田雄三）／交流会　18：00～20：00
8月7日（火）　受付　8：30～9：00／授業提案　9：00～11：00　小学校中高学年「ハンドボール」授業／講演　11：00～12：00　演者　文部科学省関係官（予定）／閉会式　12：00～12：15

9．**学校体育ハンドボール検討委員会事務局**
〒010-8502　秋田県秋田市手形学園町1-1　秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育講座　佐藤　靖気付
TEL（018）889-2577　FAX（018）889-2577　E-mail：yasushi@ed.akita-u.ac.jp

10．**大会事務局**　〒700-0964　岡山県岡山市中仙道48-101　岡山市立西小学校内　信原悦治気付
TEL（086）241-0936　FAX（086）241-3025　E-mail：e-nobuhara@hat.hi-ho.ne.jp

11．**参加費**　4,000円（資料代、および保険料込み。当日受付にて徴収いたします）

12．**参加申込**　①氏名　②年齢　③勤務先　④連絡先住所・電話番号　⑤交流会参加の有無を明記の上（書式自由）、ハガキ、ファックスまたはEメールにて大会事務局までお申し込み下さい。締切り日：特に設けません。当日も受け付けます。

13．**発表申込**　研究集会のテーマに関係する研究、および実践報告を募集します。発表を希望される方は、宿泊などの詳細を含め体育ハンドボール検討委員会事務局までお申し込み・ご確認下さい。締切り日：平成19年7月23日（月）です。

平成19年度実践研究推進校募集要項「小学校体育科授業におけるハンドボール教材の展開について」

1．**趣旨**　小学校における教材としてのハンドボールの課題について、総合的に実践研究を行ない、体育科授業の充実を図るとともに、ハンドボールの普及を図る。

2．**研究実践内容**
（1）実践研究のテーマは次のとおりとする。
ア　課題解決型の学習（めあて学習）の充実とその進め方　　イ　児童の体力（投能力）の向上に関する取組の在り方と進め方
ウ「体ほぐしの運動」の内容と方法　　エ　運動部活動の充実と運営の在り方　オ　その他
（2）推進校は、「ボール運動」、もしくは「ゲーム」でハンドボールを取り上げ、上記の内容から二つ以上のテーマを選び、その一つを主テーマとして、実践研究を進めることとする。なお、上記のテーマのうち、例えばイとウなどは一体的に実践研究することもできるものであり、一体的に行なう場合は、一つのテーマでまとめて実践研究することができることとする。

3．**研究実践期間**　おおむね2年間とする。

4．**対象推進校**　各都道府県協会より推薦された小学校の中から8校程度選定する。選定は（財）日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討委員会で行なう。

5．**推進校の運営**
（1）推進校は、校内における研究体制を整備し、必要に応じて家庭や地域との連携も図りながら、計画的、継続的に実践研究を推進する。
（2）推進校は、（財）日本ハンドボール協会、都道府県ハンドボール協会（市町村ハンドボール協会）の助言の下に実践研究を推進すること。
（3）推進校は、第1年次には実践研究の中間報告書を、また、実践研究期間の終了時には、研究成果報告書を、それぞれ日本協会の指定する様式にしたがって、都道府県協会を経由して日本協会に提出すること。
（4）日本協会は、必要に応じて推進校および都道府県協会と連絡をとり、実践研究の推進について意見および情報の交換を行なう。

6．**経費**　日本協会は、研究委託費として予算の範囲内で支出委任する。委託費は、1年目が6万円、2年目が4万円とする。

7．**その他**　日本協会は、必要に応じて実施状況および経理処理状況について、実態調査を行なう。

8．**締切**　第一次締切：平成19年7月23日（月）

9．**申込、および問合せ先**　ご不明な点は、以下にお問い合わせ下さい。
（財）日本ハンドボール協会学校体育ハンドボール検討委員会（代表　佐藤　靖）〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部スポーツ・健康教育講座　佐藤研究室　TEL/FAX：018-889-2577　E-mail：yasushi@ed.akita-u.ac.jp

審判委員会からの報告

審判部長　島田 房二

各種全国大会の予選結果も揃い始め、いよいよ夏の各種全国大会が始まります。毎年、審判員の目標をあげて研修をしておりますが、今年は次の課題を挙げています。

【平成 19 年度審判員の目標】

1．防御側プレーヤーの権利の保障（競技規則８：１）

①防御側プレーヤーが相手の進路を身体で阻む行為は許されている。

②どのような方向からでも、相手からボールを得るために、開いた片手を使うことは許されている。

③正しい防御動作をしているプレーヤー陣の中に攻撃側プレーヤーが「入り込む」プレーにおいて、不用意に防御側の違反としない。（プレーの評価）

2．アドバンテージ・ルール（競技規則 13：2、14：2）の遵守

①アドバンテージはハンドボールの醍醐味である。競技レベルによる差異はあるが、「競技を早まって中断しないように」という条文の言葉を忘れない。

②攻撃側チームの違反の直後に防御側チームがボールを所持した場合も同様である。

③危険なプレーに対する罰則を忘れてはいけない。

3．レフェリーの動きと位置取り

①試合展開が速くなり、防御隊形も大きく変化している。絶えず任務の分担を確認しあうこと。

②両レフェリーはボールに対してだけでなく、その周辺や全体の事象にも注意を払う。

③両レフェリーは、ジェスチャーなどでプレーヤーとコンタクトを取ることにより、プレーヤーを観察していることを知らせる。

④ゴールレフェリーの立つ場所は、ゴールポストに近すぎてはならない。ゴールレフェリーも最良の視野を得るための観察位置を探して移動しなければならない。

⑤両レフェリーは得点後に移動する際も、プレーヤーとボールから目を離してはならない。

以上、３点を重要課題として研修を進め、審判員も選手と同様に全国大会で研修の成果を発表することになります。

ハンドボールは身体接触に対しては、ルールブックにハッキリ書かれているように、相手の進路を身体で阻むことと、どのような方向からでもボールを得るために、開いた片手を使うことだけが許されています。このことを強調するということは規則書８の３にあるように「ボールではなく完全に又は主に相手を対象とした行為に対しては、罰則を「段階的」に適用する」ことを、しっかり適用することになります。最近はヨーロッパのハンドボールをＴＶやパソコンで見る機会が多くなっておりますが、レフェリーの判定は良いプレーと悪いプレーをハッキリと表現できているように感じます。

日本のハンドボールを更に魅力的なプレーを引き出すには、アドバンテージを上手に使えることが重要なポイントになります。ハンドボールのフリースローはバスケットとは違いフリースロー即得点になることは少なくボールを展開させた方が得点チャンスはより多くなります。反則された状態に負けずにオフェンスプレーヤーが良いパスをしているのにレフェリーが笛でプレーを止めてしまうことほどつまらない状態はありません。

以上の２点を表現するためにはコート上でのレフェリーの位置は重要なポイントになります。全てのプレーを見逃さないためにもペアーで死角を作らないポジションを研究し、絶えず移動し続けなければならないと考えています。

又、今年度は国際レフェリーの登録年度となっております。IHF のヤングレフェリーコースが始まり、昨年度は檜崎・池淵ペアーが AHF のレフェリーコースと IHF のグローバルレフェリートレーニングプログラム（GRTP）に召集され、見事 IHF レフェリーと認定されました。その結果ジュニア女子選手権で準決勝を吹笛し、今回はユース世界選手権に召集されております。このように世界のレフェリーは若手への切り替えが激しく IHF レフェリーになるには、29 歳までに大陸審判の候補として登録し、35 歳までに GRTP に召集され、IHF の資格を取得しなければ IHF のレフェリーとして活動できません。日本でもこれからのレフェリーは大学生年齢で全国大会にデビューするような状況を作らないと、日本から IHF レフェリーが育たなくなってしまいます。又各国とも最高３ペアーの登録で１ペアーは女子のペアーが入ってくるように変化しています。ハンドボールの技術の変化も大きいようにレフェリーを取り巻く状況にも大きな変化が起こっております。レフェリーの育成に皆様方の更なるご協力をお願いします。

2007年度全国大会審判員名簿

（平成19年6月10日現在）

大会名	開催地	期日	審判員氏名
実業団選手権 （7ペアー）	岩手県 花巻市	7/25 ～ 7/29	◎吉田敏明　○田村　登　多田　和生・中舘　豊（岩手） 安田　寛・永春　文義（東京）　高橋　容平・磯部　尚志（北海道）　山口　淳・川村　俊彦（岩手） 江原　秀一・前原　誠司（東京）　比留間　康・北島　浩（東京）　井上　雄介・杉本　弘樹（大阪）
全国高校総体 （24ペアー）	佐賀県 神埼市 他	7/29 ～ 8/3	◎細沢　覚　○中地健三　○大橋幹正 仲田　稔・植村　彰（千葉）　福田　弘・冨田　拓（茨城）　小林　一夫・土屋　雅男（埼玉） 石原　秀和・野島　祥之（岡山）　亀山　耕司・水谷　省一（北海道）　西山　健臣・木村　篤史（宮城） 山下　勝俊・四元　俊一（栃木）　相坂　賢将・野平健二郎（埼玉）　田村　裕志・川江　俊樹（石川） 増田　克洋・藤坂　明雄（福井）　油上　智・中村　行志（静岡）　各務　宗孝・杉山　寛政（岐阜） 寺内　啓之・細川　泰輔（大阪）　角　直樹・白川　裕隆（山口）　山本　淳・山本　孝志（島根） 森本　嘉一・大崎　祥弘（高知）　山本　耕一・壷内　博章（愛媛）　浦川　寿生・石崎　章弘（長崎） 山下　智紀・近藤　晋一（熊本）　荒木　裕志・中島　圭祐（宮崎）　奥山　誠恒・海江田貴嗣（鹿児島） 亀井　一寿・堀川　智宏（大分）　平良　徳彦・神里　太（沖縄）　権藤　洋文・上志羽　亮（佐賀）
ジャパン オープン （12ペアー）	大分県 大分市	女 8/12 ～14 男 ～15	◎島田房二　○中地健三 藤井　俊朗・大熨　嘉彦（岡山）　黒木　龍二・黒木　秀吾（東京）　河合　哲・田中　潤（香川） 井口　京子・村田　紀子（東京）　金原　理博・大森　聡（富山）　小林きよみ・門口ますみ（愛知） 森　覚・福永　賢一（奈良）　三宅　秀明・森脇　雄治（岡山）　武智　誠治・東福　康浩（愛媛） 奥山　友美・奥山　誠恒（鹿児島）　上村　英司・小野　武（大分）　上杉　洋一・宮崎　和彦（大分）
全国中学校 （12ペアー）	福島県 福島市	8/21 ～ 8/23	◎齊藤仁宏　○田村　登 福田　弘・冨田　拓（茨城）　佐路　清隆・佐藤　晃（京都）　石原　秀和・野島　祥之（岡山） 村瀬　清史・石垣　正樹（北海道）　越智　康裕・小俣　宏之（福島）　二瓶　元嘉・糸井　亮平（福島） 大内　敦史・加藤　茂樹（宮城）　戸塚　幸廣・勅使河原誠（群馬）　足立　智司・田中　基明（愛知） 川勝　宏治・川勝　裕義（京都）　梅本　司・末永　慎一（山口）　浦川　寿生・石崎　章弘（長崎）
国民体育大会 （18ペアー）	秋田県 湯沢市 大仙市	10/4 ～ 10/8	◎島田房二　○田村　登　○古関直樹 仲田　稔・植村　彰（千葉）　藤井　俊朗・大熨　嘉彦（岡山）　多田　和生・中舘　豊（岩手） 亀山　耕司・水谷　省一（北海道）　俵　英生・笹川　賢俊（北海道）　佐藤　睦朗・中島　昭博（岩手） 高橋　善浩・我孫子　功（山形）　萩原　亨・小松　大（秋田）　渡部　努・高橋　一（秋田） 工藤　里花・外舘由美子（岩手）　比留間　康・北島　浩（東京）　譲原　昭・栗田　与一（群馬） 大石　克哉・桜内　佳浩（富山）　水内　隆夫・小林　智隆（新潟）　片山　聡・大岩　広人（静岡） 佐々木昌弘・高原　浩徳（大阪）　高野　修・長澤　純平（広島）　龍　弘美・貞島　早苗（佐賀）
全日本学生 （3ペアー＋X）	北海道 函館市	11/10 ～ 11/14	◎狩野幸介　○田中　勇 浜田　浩和・小笠原久郎（東京北海道）　黒木　龍二・黒木　秀吾（東京）　河合　哲・田中　潤（香川） 池田　忠寛・中島　宏幸（北海道学連）　嶋川　直樹・宮本　真一（東北学連）　荻野　俊夫・浅野　明彦（関東学連） 北中　弘規・山口　和博（北信越学連）　須原　幸一・山田　祐輔（東海学連）　佐路　清隆・佐藤　晃（関西学連） 倉谷　康彦・岡田　雅央（中四国学連）　金子　弘明・児玉浩三郎（九州学連）　山口　工・篠原　理（北海道地元） 大橋　幹正・米山内壮之（北海道地元）　更に不足の場合は北海道ブロック登録者から補充
全日本総合 （8ペアー）	東京都 世田谷	12/20 ～ 12/24	◎島田房二　○中山富夫 ※後日、「審判審査委員会議」で決定
ＪＯＣカップ （12ペアー）	大阪府 堺市	12/25 ～ 12/29	◎齊藤仁宏　○小山　勉 家永　昌樹・福島　亮一（大阪・長崎）　黒木　龍二・黒木　秀吾（東京）　岩上浩一郎・山口　弘夫（富山） 本田　昭太・田淵　元雄（神奈川）　舟久保　豊・増渕　大介（山梨）　松尾　統央・船津　克弘（愛知） 近藤　喜夫・片山　拓（三重）　井上　清光・山内　徹好（滋賀）　秦　隆二・秦　伊織（奈良） 伊藤　公英・武田　憲樹（滋賀）　井上　雄介・宮前　泰典（大阪）　後藤　聡・横手　健太（香川）
春の中学大会 （18ペアー）	富山県 氷見市	3/25 ～ 3/29	◎島田房二　○岩上浩一郎　○齊藤仁宏 小林　一夫・土屋　雅男（埼玉）　岩上浩一郎・山口　弘夫（富山）　三浦　博英・高井　洋（青森） 岸波　重幸・野地　敏雄（福島）　上飯坂　徹・柏舘　秀一（岩手）　新谷　幸司・関口　直人（山梨） 四元　俊一・野中　毅（栃木）　松川　純史・木村　奨（神奈川）　池田　勝・長瀬　浩（埼玉） 半田　有完・佐々木昭彦（福井）　金坂　英宣・談議所啓輔（石川）　徳前　紀和・森　義久（富山） 船津　克弘・松尾　統央（愛知）　青木　英樹・根来　英介（愛知）　伊藤　保仁・尾崎　浩祥（大阪） 稲葉　昌治・森本　泰夫（鳥取）　飯島　浩太・川崎　尚（山口）　多田　宣行・杉山　孝広（香川）
全国高校選抜 （18ペアー）	徳島市 徳島市	3/25 ～ 3/30	◎細沢　覚　○中川利彦　○大橋幹正 佐路　清隆・佐藤　晃（京都）　多田　和生・中舘　豊（岩手）　山口　工・篠原　理（北海道） 稲村　正・寿川　智博（埼玉）　本田　昭太・田淵　元雄（神奈川）　小岩井浩明・土橋　邦彦（長野） 内藤　岳・山崎　昭彦（静岡）　各務　宗孝・杉山　寛政（岐阜）　上野　修一・貝田　良寛（兵庫） 前田　隆志・山本　剛（大阪）　寺口　吉行・北山　力也（兵庫）　竹安　未央・吉田　達明（鳥取） 中山　学・山本　篤洋（岡山）　加藤　剛基・高木　優明（香川）　河野　翔保・森實　岳史（愛媛） 天野　誠司・藤原　初（徳島）　平島　哲也・川端　裕貴（福岡）　吉田　順太・仲本　卓史（沖縄）

スコアールーム ①

第2回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

開催期日：2007年3月25日（日）～27日（火）
会　場：富山県・氷見市ふれあいスポーツセンター ほか

【男子】

▼1回戦

氷見北部	（富山）	32－19	石橋	（栃木）
吉川中央	（埼玉）	28－16	甲田	（広島）
郡山一	（福島）	33－16	井吹台	（兵庫）
共和	（神奈川）	35－16	袋井周南	（静岡）
明野	（大分）	29－25	鵜沼	（岐阜）
氷見南部	（富山）	36－15	谷山	（鹿児島）
けやき台	（茨城）	28－14	神埼	（佐賀）
神森	（沖縄）	28－16	黒石野	（岩手）
市川	（千葉）	31－16	境三	（鳥取）
鶴巣	（宮城）	43－24	戸倉	（北海道）
白子	（三重）	28－26	三松	（宮崎）
安居	（福井）	22－13	上	（奈良）
富岡南	（群馬）	29－22	松橋	（熊本）
八王子館	（東京）	40－23	柏刈クラブ	（新潟）
松崎	（福岡）	26－19	介良	（高知）

▼2回戦

小島	（長崎）	23－22	氷見北部	（富山）
神森	（沖縄）	55－3	江津クラブ	（島根）
氷見南部	（富山）	29－14	野洲北	（滋賀）
市川	（千葉）	30－26	羽後	（秋田）
吉川中央	（埼玉）	31－12	大淀	（大阪）
共和	（神奈川）	27－19	東根一	（山形）
月輪	（京都）	38－27	八王子館	（東京）
安居	（福井）	40－15	塩山	（山梨）
東陵	（愛知）	21－17	松崎	（福岡）
郡山一	（福島）	31－23	香川一	（香川）
岩出	（和歌山）	25－19	久米	（愛媛）
鶴巣	（宮城）	35－15	城東	（徳島）
けやき台	（茨城）	28－25	御幸	（石川）
明野	（大分）	26－20	埴生	（長野）
倉敷東	（岡山）	30－21	富岡南	（群馬）
白子	（三重）	39－31	岩国	（山口）

▼3回戦

小島	30	（16－6、14－11）	17	岩出
倉敷東	25	（11－6、14－13）	19	鶴巣
吉川中央	27	（12－9、15－11）	20	東陵
氷見南部	30	（16－11、14－9）	20	共和
神森	32	（20－13、12－16）	29	安居
郡山一	24	（15－8、9－9）	17	けやき台
明野	31	（13－14、18－10）	24	市川
月輪	29	（14－12、15－12）	24	白子

▼準々決勝

倉敷東	26	（13－9、13－11）	20	氷見南部
吉川中央	30	（14－8、14－19）	27	神森
小島	30	（13－6、13－15）	21	明野
郡山一	30	（12－12、15－9）	21	月輪

▼準決勝

吉川中央	29	（16－9、13－16）	25	小島
郡山一	28	（10－9、11－12）	22	倉敷東

▼決勝

吉川中央	**27**	**（14－12、13－6）**	**18**	**郡山一**

【女子】

▼1回戦

汐路	（愛知）	19－17	住吉第一	（大阪）
隼人	（鹿児島）	25－15	塩山	（山梨）
神森	（沖縄）	24－14	上溝南	（神奈川）
三郷北	（埼玉）	33－7	矢巾北	（岩手）
東久留米西	（東京）	29－26	明倫	（福井）
荒川	（和歌山）	17－13	袋井周南	（静岡）
羽島	（岐阜）	37－2	江津クラブ	（島根）
岐陽	（山口）	24－10	大久保北	（兵庫）
北浦	（茨城）	20－17	氷見南部	（富山）
小松南部	（石川）	17－8	花園	（千葉）
朝明	（三重）	13－8	三松	（宮崎）
下津井	（岡山）	23－11	雄新	（愛媛）
函館本通	（北海道）	23－12	鳥居本	（滋賀）
東根一	（山形）	47－9	柿崎クラブ	（新潟）

▼2回戦

汐路	（愛知）	17－13	富岡東	（群馬）
神森	（沖縄）	30－16	羽後	（秋田）
朝明	（三重）	17－14	大瀬	（奈良）
大住	（京都）	32－21	東根一	（山形）

北　浦（茨　城）21－14 高知城北（高　知）
隼　人（鹿児島）22－17 氷見西條（開催地）
三郷北（埼　玉）44－4 境港第一（鳥　取）
東久留米西（東　京）41－12 香川一（香　川）
郡山一（福　島）16－5 相　浦（長　崎）
羽　島（岐　阜）13－8 福岡春吉（福　岡）
神　埼（佐　賀）22－11 函館本通（北海道）
甲田クラブ（広　島）25－9 荒　川（和歌山）
小松南部（石　川）12－0 城　東（徳　島）
下津井（岡　山）39－9 埴　生（長　野）
岐　陽（山　口）18－8 明　野（大　分）
松　橋（熊　本）21－16 野木第二（栃　木）

▼3回戦

郡山一 16（9－7、7－7）14 汐路
北浦 16（6－4、10－7）11 神埼
隼人 17（9－8、8－7）15 甲田クラブ
三郷北 25（9－4、16－14）18 朝明
神森 24（11－7、13－10）17 下津井
大住 24（12－9、12－11）20 松橋
東久留米西 24（8－8、16－9）17 岐陽
小松南部 18（11－9、7－7）16 羽島

▼準々決勝

神森 19（10－4、9－8）12 隼人
三郷北 25（13－7、12－8）15 北浦
東久留米西 29（12－8、17－13）21 郡山一
小松南部 24（14－8、10－12）20 大住

▼準決勝

東久留米西 26（13－8、13－11）19 神森
三郷北 19（9－8、10－6）14 小松南部

▼決勝

東久留米西 24（14－10、10－13）23 三郷北

スコアールーム ②

第9回全日本ビーチハンドボール選手権大会

開催期日：2007年4月28日（日）～29日（火）
会　　場：千葉県・南房総市富浦町原岡海水浴場特設コート

【男子】

▼リーグ戦

RBC 2（6－13・8－3・3－1）1 立命館ビーチハンドボールクラブ
あふた～ず 2（11－7・13－11）0 立命館ビーチハンドボールクラブ
RBC 2（10－5・12－13・4－1）1 自衛隊霞ヶ浦
立命館ビーチハンドボールクラブ 2（8－15・8－7・4－3）1 自衛隊霞ヶ浦
あふた～ず 2（8－4・10－5）0 RBC
あふた～ず 2（15－8・10－6）0 自衛隊霞ヶ浦

▼最終順位

優　勝　あふた～ず　3勝
準優勝　RBC　2勝1敗
第3位　立命館ビーチハンドボールクラブ　1勝2敗
第4位　自衛隊霞ヶ浦　3敗

【女子】

▼リーグ戦

藤乃 2（15－5・12－7）0 愛媛みかん
あぶらおめめ 2（3－15・13－11・3－2）1 藤乃
あぶらおめめ 2（17－10・11－7）0 愛媛みかん

▼最終順位

優　勝　あぶらおめめ　2勝
準優勝　藤乃　1勝2敗
第3位　愛媛みかん　3敗

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」4・5月入会・継続会員

【北海道】清水誠一、加藤慶仁【岩手】畠山正、高橋元一【栃木】石田正彦【群馬】高橋泉、深澤佳意【埼玉】菊地知男、佐藤秀明【千葉】舎利弗芳子、穐本美雄【東京】塩川安賢、武田和夫、緑川正博、杉山茂、出原理、中澤重夫、兼子真、梶間珠美【神奈川】齋藤達也、松岡正彦、近久紀人、中丸英一、佐分正典、吉澤利美、斉藤航大、久保靖子、萩原裕太、伊藤勇貴【富山】金原至【石川】酒谷信彦【愛知】峯村佳和、高井久美、西川勤也、浅野克彦、村木啓作、浅野幹也、川合育郁【岐阜】森勝博、森三千世【京都】久保公雄、小出淳子、佐野知治【大阪】吉田敏明、大井隆史、小山章、車真佐克、草ノ井文子、大西和雄【兵庫】西澤倫雄、川原崎雅彦、高祖加奈子【和歌山】能木進【岡山】片山透、木村誠【広島】大橋季彦、山下明子、入本和男【福岡】田中守、佐伯紘一、下田昭弘、松尾勝也、和佐野健吾

【7月の行事予定】

【大　会】
7月1日(日)〜7日(土)　カザフスタン・アルマトイ
第9回女子ジュニア(U-20)アジア選手権
7月4日(水)〜7日(土)　広島市
第12回ヒロシマ国際大会(女子)
7月6日(金)〜8日(日)　愛知県豊田市
JAPAN CUP2007 TOYOTA GAMES
7月11日(水)〜16日(月)　熊本市ほか
JAPAN CUP2007 KUMAMOTO GAMES
7月13日(金)〜15日(日)　島根県・松江市
第27回全国クラブ選手権大会・西
7月15日(日)〜21日(土)　韓国・ソウル
第8回ソウル国際大会
7月23日(月)〜31日(火)　チャイニーズタイペイ
第2回女子ユース(U－18)アジア選手権
7月25日(水)〜29日(日)　岩手県・花巻市
高松宮記念杯第48回全日本実業団選手権大会
7月27日(金)〜29日(日)　福島県・本宮町
第27回全国クラブ選手権大会・東
7月27日(金)〜29日(日)　富山県・氷見市
第15回全日本マスターズ大会
7月29日(日)〜31日(火)　京都府・京田辺市
第20回全国小学生大会
7月29日(日)〜8月3日(金)　佐賀県・神埼市ほか
高松宮記念杯第58回全日本高校選手権大会

【会　議】
7月14日(土)
本部長会(場所未定)

第31回日本リーグプレーオフDVD販売のお知らせ

●2007年3月17・18日に行なわれた第31回日本リーグプレーオフのＤＶＤを販売しています。

【試　合】1試合1枚です
男子準決勝1　大同特殊鋼 VS トヨタ車体
男子準決勝2　湧永製薬 VS 大崎電気
男 子 決 勝　大同特殊鋼 VS 湧永製薬
女子準決勝　広島メイプルレッズ VS ソニーセミコンダクタ九州
女 子 決 勝　オムロン VS 湧永製薬

【定　価】1枚：2,800円(税込)
※1枚に1試合の映像が入っています。
※1度に2枚以上ご購入の方は、2枚目以降が2,500円(税込)となります。
【DVDの販売は(株)フィスで行なっています】
(株)フィスHP「HANDBALLFan」;http://www.handballfan.com/

HAND BALL CONTENTS Jun. Jul.

(登録チームの購読料は登録料に含む)

asics

sound mind, sound body

JAPAN、名品の系譜。

機能だけではない、風格のようなものがなければならぬ。
先端のテクノロジーでさらにパワーアップした機能を備えて
新しくなったスカイハンドJAPANシリーズ。
グリップ力に優れた国産ラバー採用のJAPANラバーソールと、
しなやかで通気性のあるエクセーヌを使ったカラーアッパーに
ソール前足部のベンチレーションホール等々。
インドアを制するミドルカットとローカットが揃った。

足入れ感を高めてクラシカルな名品復刻モデル。

スカイハンド®JAPAN-MT

THH514 ¥16,800(本体¥16,000)

- カラー：5093 ネイビーブルー×シルバー
- サイズ：23.0〜29.0cm



名品スカイハンドSPのフォルムを受け継いだローカットモデル。

スカイハンド®JAPAN-S

THH515 ¥15,750(本体¥15,000)

- カラー：2300 レッド×パールホワイト
  5093 ネイビーブルー×シルバー
- サイズ：23.0〜29.0cm



JAPAN
JOC
オフィシャルパートナー
©1993 JOC® JOC P-002

株式会社アシックス

アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。 表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。( )内は消費税抜きの本体価格です。http://www.asics.co.jp 商品についてのお問い合わせは「アシックスお客様相談室」までどうぞ。03-3624-1814、06-6385-1155



(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四八一号

昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可

平成十九年六月二十六日印刷 平成十九年七月一日発行

東京都渋谷区神南一－一－一 電話 代表 〇三－三四八一－二三六一 振替 〇〇一二〇－七－一〇二九三

編集兼発行人 川上憲太

定価 年間三二〇〇円